

英語教育について

外国語教育は小学 3・4 年から

町では、国の示した小学校の外国語教育の充実に向けた移行期間の開始年となる今年度より、英語専科教員を活用した授業を実施しています。授業は、日本語を使わず全て英語により進められ、年間を通して 3・4 年生で 35 時間、5・6 年生で 70 時間の実施を目指しています。

その他の英語に関する町の取り組み

- イングリッシュキャンプ事業
サマーキャンプの実施 児童生徒 48 名の参加
- 「ことばでつながる」まちづくり事業
昼夜各 2 コースの実施 高校生以上 80 名の参加

防災の心得について

命を守る対策

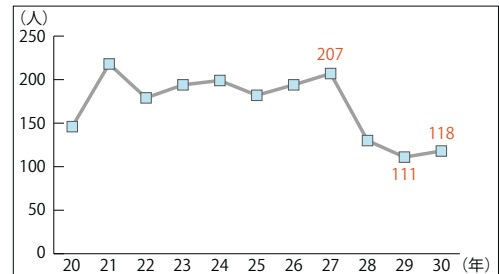
避難するときには持ち出す最小限のものを非常持出袋などに入れて用意しておきましょう。

	☐ 応急医薬品・常備薬	☐ 貴重品
	☐ 非常食・飲料水	☐ 衣料品
	☐ 携帯ラジオ・懐中電灯	☐ 生活用品
	☐ ヘルメット・防災ずきん	

- テレビやラジオの他、防災行政無線屋外スピーカーや戸別受信機、防災行政無線自動応答サービス(☎23-2121)や町 HP などを活用し、災害情報・気象情報・避難情報を集めましょう
- インターネットなどによるデマに注意しましょう
- 指定の避難場所などを把握しておきましょう

今年は 118 名と語り合う 参加者数は 3 年前に比べ 4 割減

まちづくり懇談会参加者数の推移（平成 20 年～ 30 年）



役場新庁舎建設計画について

全ての町民にとってやさしく、利用しやすい安全安心な「俱知安らしい」庁舎を目指します。

- 計画の基本方針**
- ①すべての人が利用しやすい庁舎
 - ②防災拠点となる強い庁舎
 - ③機能的で柔軟性のある庁舎
 - ④人と環境にやさしい庁舎

今後のスケジュール

2018 年度	実施設計	建物の構造や設備の詳細、工事費の内訳などを設計
2019 年度	建築工事	工事発注、建設工事（外装工事）
2020 年度		建設工事（外装・内装・設備工事）※ 2021 年 3 月竣工予定
2021 年度	旧庁舎解体 外構工事	引っ越し、新庁舎の利用開始 駐車場などの外構工事

北海道新幹線事業について

トンネル工事について

現在、町内では二ツ森トンネルと羊蹄トンネルの 2 カ所で掘削工事を行っており、11 月 1 日現在、二ツ森トンネルの工事進捗率は 36% となっています。また、羊蹄トンネルは現在シールドマシンを組み立てており、2019 年 4 月掘削開始予定となっています。

インバウンド等対応策検討協議会

この協議会では、訪日外国人旅行を含めた観光、それを活かした広域的なまちづくりに寄与できるよう、関係自治体はもとより、民間や海外の事情に詳しい方などからいただいた意見を、今後の駅の高架橋や駅舎の設計に反映させていきます。

日 時	会 場	参加人数
10 月 30 日（火）	北地域会館	7
	南地域会館	3
11 月 01 日（木）	克雪管理センター	11
	東地域会館	12
11 月 02 日（金）	高砂地域センター	2
	中小企業センター	4
11 月 07 日（水）	サン・スポーツランドくつちゃん	19
	八幡地域センター	18
11 月 08 日（木）	東部地域会館	10
	琴和福祉会館	32

今年は以上のとおり 10 会場で開催しました。



まちづくり懇談会

町長が各会場に出向き、町民とまちづくりについて語り合うまちづくり懇談会。町が現在進めている取り組みの状況などについて町長から直接聞き、さらに皆さんが日頃感じている疑問や要望などについて、町長と直接意見を交わします。
今月の特集では、10 月から 11 月にかけて開催されたこのまちづくり懇談会に参加できなかった方のためにも、懇談会で町長から説明のあった事項や話し合われた内容について一部を紹介するとともに、今後のまちづくり懇談会のあり方について考えます。

総合計画について

総合計画は自治体運営において、全町民が協力してまちづくりを進めるための方向を示すもので、町では現在、2020 年度～ 2031 年度（12 年間）を計画期間とする第 6 次総合計画の策定に向けて取り組んでいます。

第 6 次総合計画の策定にあたっては、「観光・農業による経済効果を域内循環させることで、地域経済を活性化させるとともに、町民一人ひとりの QOL（＝ Quality of Life）を向上させる」ことを基本とし、高齢者や子ども、子育て世代や障がい者など、俱知安町で暮らす全ての人が幸せを感じ、充実した生活ができるような施策を各分野で展開していくことを目指します。

宿泊税について

宿泊税は、世界有数の山岳リゾートとして発展していくことを目指し、地域の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てられます。俱知安町では 2019 年 11 月からの導入に向けて取り組んでおり、町内の宿泊施設への宿泊に対し、宿泊者に課税されます。税率は、宿泊以外のサービスに相当する料金や消費税などに相当する金額を除いた、宿泊料金の 2% です。



町が進める取り組みから

町が進めている主な 7 つの取り組みについて、町長が説明しました。その内容を一部紹介します。

農業戦略について

ばれいしょ 馬鈴薯生産振興対策事業（疫病等予防事業）

梅雨期における豪雨などにより、無人ヘリコプターによる馬鈴薯ほ場の防除を実施した農業者に対し、掛かり増し経費の一部を助成します。

有害鳥獣の出没状況について

ヒグマ	○捕獲 2 頭 ※出沒情報 20 件（4 月以降）
アライグマ	○捕獲 49 頭、事故死など 1 頭 ○箱わな設置 現在 19 件、延べ 32 件
エゾシカ	○捕獲 10 頭 ○くわな設置 1 カ所

有害鳥獣災害防止用電気柵購入補助金

購入に係る経費の一部を助成します。

狩猟免許取得補助金

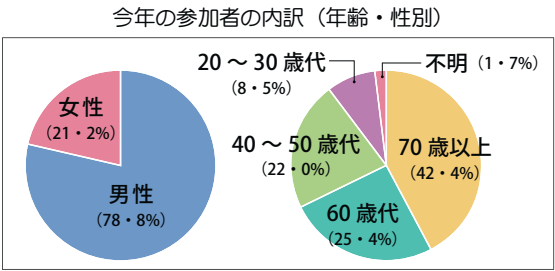
猟友会の担い手育成を推進するため、新規狩猟免許取得に要する経費の一部を助成します。

一人一人がまちづくりに参加するために
まちづくり懇談会の課題を探る

今年の傾向を分析
女性や若い世代の参加少なく

5 ページで伝えたとおり、今年のまちづくり懇談会には 118 名が参加しました。参加者は、比較的高い年齢層の参加が多く、78・8%が男性となっており、その属性には大きな偏りが見られます。

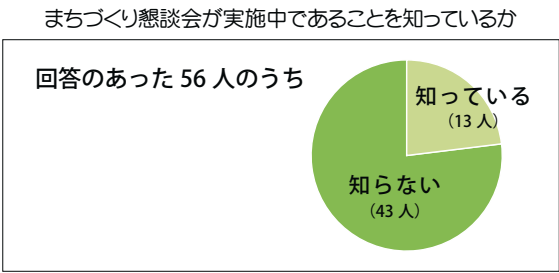
この結果に基づいて、参加の少なかった層の中でも特に、働きながら子育てをしている世代を対象としたアンケートを実施し、「まちづくり懇談会に参加しない（参加できない）」その理由を聞きました。



くっちゃん保育所めぐめぐ保護者に聞きました



「知らない」が約 8 割
まずは知ってもらうことが

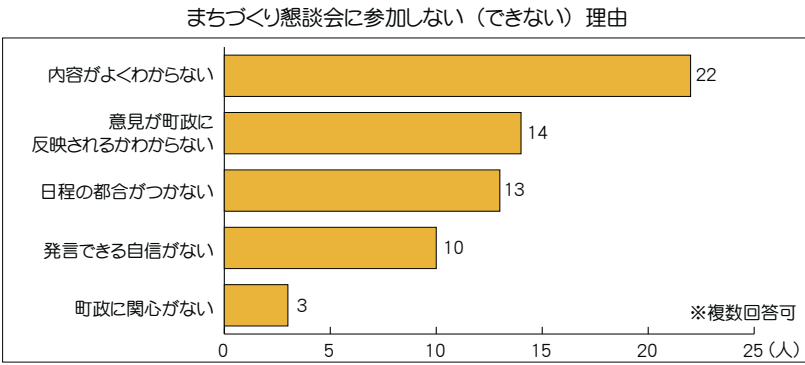


まちづくり懇談会の開催については、広報 10 月号や町内会回覧、町 HP に掲載する他、子育てサークルにチラシを配布するなどの方法で周知しました。

しかし、くっちゃん保育所めぐめぐ保護者でアンケートに回答のあった 56 名のうち、「まちづくり懇談会が実施されていること」を「知っている」と回答したのは 13 名のみで、全体の 76・8%にあたる 43 名は「知らない」と回答しました。

なぜ参加しない？
周知や開催方法に課題

また、参加しない（できない）その理由を聞いたところ、最も多かったのは「内容がよくわからない」、次いで「意見が町政に反映されるかわからない」、「日程の都合がつかない」、「日程の都合がつかない」でした。



町では、一人でも多くの意見を町政に反映できるよう、町民誰もがまちづくりに参加できる機会の一つとして、まちづくり懇談会を実施しており、年代や性別に偏ることなく若い世代や子育て世代、さらには中高生まで、幅広い年代のさまざまな立場の町民が参加することが、町民一人一人が参画するまちづくりの第一歩だと考えています。

しかしながら、参加者の減少や偏りが見られることから、今後はそれらの解消に向け、検討していくことが必要であり、まちづくり懇談会の開催についてしっかりと周知することはもちろん、その意義などについても十分に理解してもらうことが重要と考えます。

まちづくり懇談会は、あくまで町民の意見をまちづくりに反映させるための取り組みの一つです。町では、今後もういった機会を含め、さまざまな手法で工夫しながら、町民の意見を聞くとともに、一緒に考えることで、さまざまな取り組みを進めていきます。



対話から始めるまちづくり

説明のあった事柄の他、皆さんが生活する中で疑問に思うことなどについて町長と意見を交わしました。各会場におけるその内容の一部を紹介します。

保育施設などの土曜保育について

町民の声

現在、町内で土曜保育を行っているのはくっちゃん保育所と 1 幼稚園のみ。保育士を 2 幼稚園に派遣するなどして土曜日の保育を行ってほしいか。

町の考え

平日は幼稚園に通っている子を土曜日のみくっちゃん保育所で受け入れるのは、子どもにとって負担であると考えます。町内幼稚園との協議を引き続き進めたい。

倶知安厚生病院について

町民の声

倶知安厚生病院は小樽市を除いた後志管内で中核的な医療機関だと思うので、何とか維持存続に向けた話し合いをしてほしい。

町の考え

運営については、羊蹄山麓 7 カ町村で話し合っている。施設整備については、国や道などからも支援を受けながら近隣町村が協力し合って進めていきたい。

町営住宅の新築・建替について

町民の声

民間アパートの家賃が高く、高齢者は特に困っている。既存の町営住宅は老朽化が進んでいるので新築や建替えを検討してほしい。

町の考え

町営住宅の新築は難しいが、既存の町営住宅については、倶知安町公営住宅等長寿命化計画に沿って順次改修工事を行っているのでご理解願いたい。

新庁舎建設後の保健福祉会館の利用について

町民の声

役場新庁舎が建設されたら、現保健福祉会館はどう利用するのか。図書館にしてはどうか。

町の考え

絵本館の老朽化が進んでいるので、絵本館にするという案がある。工夫しながら対応を考えたい。

防災無線について

町民の声

防災無線の音声非常に聞きづらい。

町の考え

以前は機械の音声を放送していたが、9 月の放送は町職員の声で行った。こちらの方が聞きやすいとの声があったので、当面はこの方法で行いたいと考える。